

2023年9月28日
ANAウインドサーフィンワールドカップ
横須賀・三浦大会実行委員会

ANAウインドサーフィンワールドカップ
横須賀・三浦大会
SDG's Tシャツプロジェクトのご紹介



『みんなで、ANAウインドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会のTシャツをつくろう!』と題して、オリジナルデザインTシャツをつくりました。

【概要】

ウインドサーフィン2022年大会は、海風にも恵まれ自然と共存しながら、来場された方にとっても楽しんでいただける大会でした。

自然がカギとなるスポーツであるからこそ、昨今の気候変動や海洋資源などを意識し、2023年大会では、本大会を通じてより多くの方々にSDG'sを知っていただく取り組みとして、サーキュラーエコノミーに触れて、知っていただき、地球にも、みんなにも優しい、笑顔になれる取り組みをしたい!また、大会CONCEPTにも掲げられている「多様性を受け入れ・サステナブル」な大会としたい。という思いから、ANAの発案により実行委員全体でこのプロジェクトが生まれました。

このプロジェクトでは、

1. Tシャツ素材:100%繊維由来の再生ポリエステルを素材の一部に使用した『BLANK APPAREL™』のTシャツを採用。「BRING™」(運営:(株)JEPLAN)の取り組み、(以下、「BRING™」という)不要になった服を回収し、その中のポリエステル100%の服を対象に独自技術を用いてリサイクルした再生ポリエステルを素材の一部に使用しています。
2. Tシャツのデザイン:クロスチーム(株式会社クロス・カンパニー)に所属する『チャレンジド・デザイナー®』とプロのデザイナーとの『共創』で生み出された「海と風」を表現したデザイン
3. Tシャツの販売:オリジナルデザインがプリントされたTシャツを大会期間中に300着販売
4. Tシャツの回収:「BRING™」と連携し大会期間中、自宅で眠っている使われなくなったTシャツを、会場の専用BOXにて回収を行い、また新たな服などの資源に生まれ変わらせる取り組みを行います。

※「チャレンジド」とは、

「神から挑戦という課題、あるいはチャンスを与えられた人」という意味、「障がいを持つ人」を表す造語として作られた「the challenged(挑戦という使命や課題、挑戦するチャンスや資格を与えられた人)」を語源とした造語です。

従来のハンディキャップ、という言葉ではなく、障がい者が新しいことに挑戦できる、してほしい、という意味を込めて、障がいを持つデザイナーをチャレンジド・デザイナーと名付けています。チャレンジド・デザイナー®は、株式会社クロス・カンパニーの登録商標です。

この取り組みは、本大会VISION、CONCEPTに繋がっています。

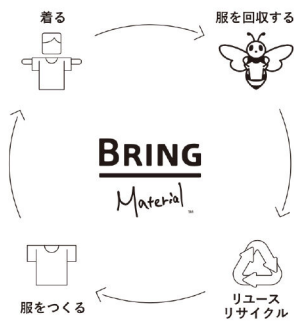
販売期間 2023年11月10日(金)～14日(火)大会期間中
販売場所 大会会場内のブース
販売枚数 白:150枚、黒150枚 計300着



【ご協力】

- ・Tシャツ
株式会社JEPLAN <https://www.ieplan.co.jp/>

JEPLAN



■「BLANK APPAREL™」<https://blankapparel.jp/>
ポリエステルをサステナブルに。工場の繊維くずや古着をリサイクルして作られた再生ポリエステル「BRING Material™」を素材の一部に使用した、アパレルやユニフォーム、グッズ、ノベルティ制作向けのプリント用ボディブランド。BRING™の回収プラットフォームで回収し、様々な資源に循環させることができます。

- ・デザイン
制作：株式会社 クロス・カンパニー <https://crossteam.jp/>
総合監修：株式会社 KUZE DESIGN <https://kuze-design.com/>

■8月19日に実施した本大会用デザインのワークショップの様子



■事務局メンバー参加の集合写真



■デザイナーの皆様

- ・チャレンジド・デザイナー®の皆様と、デザイン総合監修 株式会社 KUZE DESIGN 久世様

